

はじめに 豊根村長 伊藤 実



今年の2月に多くの皆様のご支援により村長という職を担うことになりました伊藤でございます。そして今、改めてその重責を感じておるところでございます。

さて、この地域を取り巻く情勢は、少子高齢化、林業不振、鳥獣害等課題が山積しておりますが、とりわけ急速に進む高齢化は、集落維持を始め医療福祉といった面からも深刻問題となっております。豊根村の第5次の総合計画では、自助・共助による地域での支え合いを基本に、各種の制度を利用し温かい対応ができる公助を加えた地域のシステムを構築し、保健、福祉、医療が一体となり子供からお年寄りまでが安心して暮らせる「生涯現役」の村を目指しております。村内の医療施設は、村営診療所が2箇所豊根診療所は、月曜日から金曜日の午前、富山診療所は、月・木曜日の午後という診療体制で行っております。2次医療、救急医療については、新城市民病院や東栄病院をお願いをしておるところですが、地域連携の中で住民の安全安心を確保していかなければならないと思っております。又、今年度から2カ年をかけて24時間対応のヘリポートの整備を進めており、住民が安心して暮らせる地域づくりに取り組んでおります。最近、世界的な異常気象、又、3月に発生しました東北地方太平洋沖地震等大変痛ましい大きな災害が発生しております。そういった中で、山間地域での防災や救急医療に大きな期待をしております。今後の高齢化社会への対応や医療体制は、東三河北部医療圏の皆様のご支援とご協力を頂き取り組んで参りたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

開業医訪問 河合歯科医院 河合 宏

新城市井代で歯科医院を開業しております。

このたびの東日本大震災におきまして被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、1人でも多くの方がご無事であるようにお祈り申し上げます。

広い地域にわたって甚大な被害がありましたので、被災者は30万人を超え、依然として被災地、首都圏を中心に、交通、経済、文化活動と、多方面に影響がでています。また、福島原子力発電所の事故によって地域住民に放射線被曝の危険があり、こちらでも多数の避難者がでています。とくに妊婦や免疫力の低いお子さんなどは心配です。

それでも、徐々に支援物資が送られ、災害支援チーム、医療チームなどが派遣されるようになり、当初の混乱は落ちついてきたようです。

復興には、かなりの年月を要しますので、決して忘れることのないように支援を続けていきたいと思っております。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	休
14:00~ 19:00	○	○	○	○	○	○	診

住 所：新城市井代字大貝津67番地3
電 話：0536-32-2736

東三河北部医療圏情報

地域医療対策協議会公式ホームページ

“ふるさと”のメロディーにのせて



東三河北部医療圏地域医療対策協議会を開催しました。

3月23日(水)に東三河北部医療圏地域医療対策協議会を開催しました。平成22年度の事業報告並びに決算見込みの報告とともに、平成23年度事業計画並びに平成23年度予算について協議され、承認されました。

<平成22年度事業報告>

1 Drサポート事業(医師を始めとする医療従事者に対して直接的に支援する事業)

(1) 医師情報交換事業 10件

(2) 資格取得等奨励事業

① 資格取得の奨励(職種や取得した資格内容に応じて、奨励金を支給)

・新城市民病院関係 4件

・東栄病院関係 1件

② 学会発表の奨励(職種や発表した学会規模等に応じて、奨励金を支給)

・新城市民病院関係 17件

・東栄病院関係 4件

③ 医学誌等への寄稿・投稿の奨励(職種や投稿先に応じて、奨励金を支給)

・新城市民病院関係 2件

2 Drバックアップ事業(医師を始めとする医療従事者を間接的に支援する事業)

(1) 視察研修事業(研修参加に要した旅費の支給)

・東海三県へき地医療研究会の参加 医師3名、看護師3名、保健師1名、行政関係者5名

(2) 医療関係者招聘事業

① 医師訪問 21件

② ダイレクトメールの発送 355件

(3) 情報発信事業

① ホームページの充実

② 講演会の開催 120名参加

(4) 地域医療支援団体助成事業

① 子育て情報誌さくら 内容:「お母さんたちが作った新城・北設子育て情報誌」600部

② 福祉と医療を考える奥三河ネットワーク

内容:「住民と医師との意見交換会」北設楽地域3地区開催

3 市町村連携部会

・協議会事業の進捗管理 年4回開催

※ 東三河北部医療圏地域医療対策協議会で実施する事業の詳細については、あらためてご紹介します。